



千葉県議会議員 佐倉市・酒々井町選出

# 入江あき子

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan

病床確保計画 千葉県 12/24 の状況				
フェーズ (局面、時期)	1	2	3	4
全療養者数	200	400	1000	1518人
(内) 重症患者数	15	30	70	19人
即応病床数(必要病床数)	350	500	750	756床 うち重症用61床
必要ホテル部屋数	30	150	700	県内5施設 815
一般医療	継続	一部抑制	抑制拡大	抑制
(参考)1日あたりの平均新規感染者数の目安	20	40	70	150

資料：千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料を基に作成

入江 健康観察アプリの導入や入院調整等の一元化については、5月の時点から要請している。非常に対応が遅いが、保健所の負担軽減のために早急に取り組んでいた

## 保健所業務の効率化

12月13日時点での自宅待機

スの情勢を踏まえ、日々の政務活動、毎議会の会派代表質問や健康福祉常任委員会において、この一年間県当局への働きかけを続けてきました。12月県議会常任委員会での主な質疑をお伝えします。

一刻一刻と変化するコロナウイルスの情勢を踏まえ、日々の政務活動、毎議会の会派代表質問や健康福祉常任委員会において、この一年間県当局への働きかけを続けてきました。12月県議会常任委員会での主な質疑をお伝えします。

新型コロナ感染症の第3波が襲来し、千葉県の医療警戒レベルは、12月22日に最大の「フェーズ4」に引き上げられました。県内の入院即応病床は1月5日時点で94床まで増やす方針です。

新型コロナ感染症の第3波が襲来し、千葉県の医療警戒レベルは、12月22日に最大の「フェーズ4」に引き上げられました。県内の入院即応病床は1月5日時点で94床まで増やす方針です。

医療緊急事態

第3波をいかに乗り切るか  
スピード感のある対応を！



12/14 健康福祉常任委員会での質疑を終えて

## PCR検査体制(一日最大処理能力)

県衛生研究所・県内10保健所 768件	
<b>医療機関</b>	
帰国者・接触者外来	1,438件
検査協力医療機関	4,871件
<b>合計</b>	<b>6,309件</b>
<b>検査機関</b>	
帰国者・接触者外来	489件
地域外來・検査センター	105件
検査協力医療機関	5,940件
<b>合計</b>	<b>6,534件</b>
<b>11月30日現在</b>	<b>合計13,611件</b>

入江 健康観察アプリの導入や入院調整等の一元化については、5月の時点から要請している。非常に対応が遅いが、保健所の負担軽減のために早急に取り組んでいた

## 積極的な検査体制を

インフルエンザとの同時流行に備え、県は地域のかかりつけ医や診療所における「発熱外来」を110カ所指定する目標を掲げています。その一方、感染疑いや濃厚接触者に対する行政検査に加え、

入江 阳性者の割合が上昇し、市中感染が広がる中、千葉県としてより積極的な検査を早期に実施してほしい。

引き続き求めていきます  
\*医療従事者等への県独自の危険手当支給

補正予算 1628億3000万円 可決成立

# 新型コロナウイルス感染症対策

12月定例県議会  
11/27 ~ 12/22

だきたい。

\*県は12月18日から、入院の判断や療養場所を選択する基準を見直しているため、在宅療養が急増しています。12月24日現在、自宅待機者は797人。早期の業務改善が必要です。

## 全庁あげて マンパワーの集中を！

の状況はどうか。

保健所における時間外勤務

の状況はどうか。

健康福祉政策課長 感染者数の多い市川と松戸の保健所では、今年4月から11月までに月80時間以上

の時間外勤務は延べ30名で最長は月147時間だった。

入江 精神疾患等の理由で長期療養休暇や休職の職員が増えており、欠員を補えない実態がある。

全庁をあげて保健所へのマンパワーを集中させる必要があるかどうか。

健康福祉政策課長 人材派遣職員

健康づくり支援課長 保健所では毎日電話で自宅療養者の体調等を確認しているが、現場の負担増に伴い保健師の派遣や健康観察を本庁で一部代行している。今後はさらなる感染拡大に備え、健康観察アプリの早急な導入や業務の集約化など、保健所の負担軽減を図つてまいりたい。

入江 健康観察アプリの導入や入院調整等の一元化については、5月の時点から要請している。非常に対応が遅いが、保健所の負担軽減のために早急に取り組んでいた

## 発熱外来の設置状況 印旛医療圏 2020/12/10

発熱対応医療機関	115
指定機関	52
非指定機関	63

健康福祉政策課資料を基に作図



印旛発熱外来相談窓口

## インフルエンザ？新型コロナ？と思ったら

まずは電話で相談 通院している医療機関 住居近くの医療機関

相談先に困った場合

電話相談窓口（センター） 03-6747-8414  
千葉県発熱相談センター 24時間対応可能

お住まいの地域に応じて下記の窓口に連絡（月～金曜日）  
佐倉市 健康増進課 043-485-6711 (8:30 ~ 17:15)  
酒々井町 酒々井町保健センター 043-496-0090 (8:30 ~ 17:00)

発熱した際に受診できる医療機関の紹介、新型コロナウイルス感染症に関する相談、感染の予防に関すること、心配な症状が出た時の対応など

感染者が多数発生している地域やクラスター発生地域での医療機関、高齢者施設等での「一斉・定期的検査」の実施も国から求められています。  
すでに16市町が国の助成を受け、「一定の高齢者等への任意検査」を実施している。(12/24現在、酒々井町では実施、佐倉市は申請中)。それとは別に9月15日以来、国から何度も要請されている「一斉・定期的な検査」の実施状況はどうか?  
まだ県では実施していないが、症状のある方や濃厚接触者等への行政検査に影響が出ないよう地域の感染状況を踏まえ、検討してまいりたい。  
高齢者福祉課長 まだ県では実施していないが、症状のある方や濃厚接触者等への行政検査に影響が出ないよう地域の感染状況を踏まえ、検討してまいりたい。  
CT活用による負担軽減も進めている。全庁応援については、隨時応援職員の派遣や追加の職員配置等を総務部と協議しているところだ。  
入江 保健所職員は心身ともに疲弊している。他部局からの応援体制をとり、全庁的に保健所のバッカアップ体制をさらに進めてほしい。  
この制度に対する医療機関からの批判がある。早期発見を考えるなら、まず、有症状者を検査するのが医療サイドからみたベストなり方である。  
健康危機対策監 一般論として、この制度に対する医療機関からの批判がある。早期発見を考えるなら、まず、有症状者を検査するのが医療サイドからみたベストなり方である。  
入江 陽性者の割合が上昇し、市中感染が広がる中、千葉県としてより積極的な検査を早期に実施してほしい。

# まずは現場へ！当事者の声を政策につなげます



## 児童虐待防止

### 待ったなし！児童相談所一時保護所の環境改善

千葉県の児童虐待相談対応件数は、昨年度9051件と過去8年連続で増加。県は、昨年野田市で起きた小学4年女児の虐待暴行死を踏まえ、今年度の関連予算を大幅に増額しました。児童相談所の機能強化として前年度の約5倍/5億円を超える予算を計上。児童福祉司110名の増員、一時保護所の増設に加え、新たにタブレットの導入による情報共有や児童相談所の運営監査を行うことになっています。

昨年10月、激務から心身に不調をきたして県児童相談所一時保護所を退職・休職している方々から現場の実情を伺いました。意欲的に働いてこられた姿に胸を打たれ、環境改善は急務と受けとめました。



そこで12月議会で質問し、以下について要望しました。

- ◆新たに行われる児童相談所の運営監査は、子どもの権利擁護の視点を第一に取組んでほしい。
- ◆心身ともに傷ついた子どもが多く暮らす一時保護所においては、大人との信頼関係を築き、安心して暮らせる環境が必要。国のガイドラインに基づき、職員の増員や専門性の向上を図ってほしい。
- ◆増設予定の県児童相談所（印旛地域を含む2カ所）は設置に4～5年を要するが、一時保護所の過密化解消は待ったなし。千葉県でも民間立の一時保護所（一時保護専用施設／右上）の設置を積極的に進めてほしい。
- ◆児童相談所職員の過重労働を減らし、メンタルケア、待遇改善（→右）に取り組んでほしい。

### 民間立の一時保護所

#### 千葉みらい響の杜「蒼空ホーム」を訪問

昨年10月に千葉市の民間養護施設にオープンした一時保護専用施設を見学し、運営上の課題や行政への要望等をお聞きしました。千葉県も他県と同様に設置目標を掲げ、積極的に推進するよう



11/10 一時保護専用施設を見学 求めていきます。

### 児童相談所職員の待遇改善へ

今年度から国は児童相談所一時保護所の職員に対する特殊勤務手当等を従来の2倍（月額2万円）に引き上げる財源を県に出しています。千葉県の対応を聞いたところ、「国の地方交付税措置の趣旨に沿って検討中であり、1月から児童福祉司、児童相談員や児童心理司の基本給を引き上げる予定」との答弁がありました。



10/2 中央児童相談所視察



## 東千葉メディカルセンター 不正問題

### 第三者による真相究明を

昨年10月上旬、東千葉メディカルセンター（以下、MC）における一部職員の高額な手当等の支給、随意契約による不透明な業務委託等々が内部告発されました。その後、MC設立団体の東金市と九十九里町はMCへの立入調査を行い、11月24日には中間報告が出されました。それによれば、県からMCに派遣された事務方トップの「事務部長」が自らの調整手当を月額27万円に水増しするなど、驚きの事実が発覚。

12月3日会派代表質問では、MCの経営改善や内部統制を指導すべき「事務部長」に対する県の見解を質し、第三者による真相究明を求めました。これ

に対して副知事は「調査結果を詳細に確認した上で、設立団体と連携して改善に向けた必要な助言指導を行う」と答弁。

12月10日市町からMCへの是正命令が出され、私は14日県議会健康福祉常任委員会において、115億円もの県税をMCに投入している県の指導管理責任を追及。MCは県立東金病院閉院後の後継医療機関として位置づけられ、設立前から県の歴代医療担当部長らも病院運営に深く関与してきました。市町のは是正命令を見ると、十分な事実確認や裏付け調査は行われていません。**県主導で第三者による実態調査を行い、MC組織体制の健全化に**

### 向けて厳しく指導するよう求めました。

12月16日東金市議会でのMC調査特別委員会を傍聴しました。参考人招致されたMC側は「不正や違法と思われる告発事案の決裁・実行者は前事務部長（令和2年1月死去）が行ったものであり、その経緯や理由は不明」「大半の起案決裁文書は確認できない。規程の整備や運用が行われず内部監査が動かなかったのは、職員個人の資質の問題」と一方的に主張。しかし、これでは納得できません。

1月15日までに市町はMCに改善報告を求めていますが、あまりにも短期間でどこまでできるのか大いに疑問です。今後、MCが三次救急を担う病院としての役割を果たしていくためにも、組織の抜本的改革が今こそ必要です。



10/16 オストメイトトイレ調査



11/5 通学路を改善しました（弥富小学校区）



### 高校生への食支援



コロナ禍で経済的に厳しい家庭が増えています。高校生世代の食支援等を行っているNPOハイティーンズサポートちばの活動に参加し、県立高校での米の無償配布を行いました。毎回1校あたり120人を超える生徒の受け取りがあります。



10/9・10/14 県立高校での米配布作業

### 入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津1621-8(2階)  
電話 / 043-420-8758  
fax / 043-420-8759  
mail/groundwater.sakura@gmail.com

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト URL/ <https://irieakiko.jp/>

いのちと暮らし、守り抜く



### プロフィール

1965年

宮城県仙台市生まれ

1988年

国際基督教大学(ICU)

教養学部社会科学科卒業

2003年4月～

佐倉市議会議員

2011年4月～

千葉県議会議員

### 2019年4月～現在

千葉県議会議員3期目

健康福祉常任委員会委員

議会運営委員会委員

会派「千葉民主の会」政策調査会副会長

立憲民主党千葉県連パートナーズ委員長

連合千葉議員団会議所属

千葉県地方自治研究センター所属

千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属

千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属

千葉県フリースクール等教育機会確保議員連盟所属

全国災害ボランティア議員連盟所属